社会福祉法人　全国社会福祉協議会

全国保育協議会とは

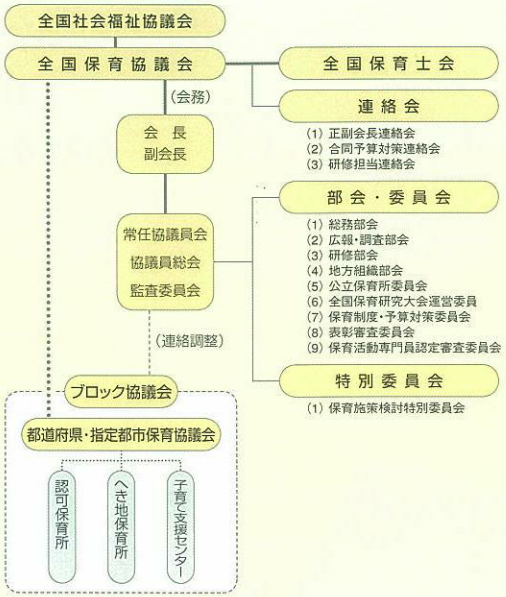
全国保育協議会（以下、「全保協」）は、
公私立を問わず、全国の認可保育所の93％、約21,000か所の保育所（利用児童約200万人）
が加入している保育を推進する団体です。

全保協には、18万人の保育士が加入する
全国保育士会が組織されています。

各都道府県・政令指定都市に
保育協議会が組織されています。

全保協の設立は昭和27年です。半世紀にわたって
社会や家族の変容の中で子どもの育ちと子育てを
支えてきました。

全国保育協議会　組織機構図



全国保育士会の取り組み

会員の専門性の確立と、資質向上の支援
～みんなでスキルアップ～

全国保育士会研究大会の開催・
各種研修会の開催・
全国保育士会研究紀要の発行　など

子育て文化の再構築
～子育て力をエンパワメント～

保育所における食育の推進・
子ども虐待防止に向けた取り組み・
「保育所保育指針」改定に対する検討、
意見具申　など

保育士会組織の強化
～組織強化して、さらにパワーアップ～

保育士会だよりの発行・
保育士への感謝状贈呈・ブロック、
都道府県・指定都市保育士会との連携推進　など

全国保育協議会では

「全保協の将来ビジョン」

をもとに事業を展開しています。

全保協では「すべての人が子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現」を目標とした「全保協の将来ビジョン」を策定し、
次の5つの取り組みの柱に沿ってさまざまな事業を展開しています。

Ⅰ　子どもの育ちを保障する

- 質の高い保育を提供する
- 職員の資質向上を図る

保育所の自己点検、第三者評価の推進。質の高い保育のあり方についての研究。研修体系の確立と職員の資質向上のための取り組み。全国保育研究大会や各種研修会の実施。

Ⅱ　子育てライフを支援する

- 子育て支援サービスを充実する
- 地域子育て支援の拠点を整備する

会報やホームページ、「保育年報」を活用した子育て支援情報の提供。
子育て家庭支援を強化するための人材養成・研修の充実。

Ⅲ　多様な連携と協働をつくる

- 子育て支援のネットワークをつくる
- 情報やノウハウの共有を進める
- 保育所ネットワークの強化を図る

地域を基盤とした子育て支援ネットワークづくりの推進。多様な団体、組織との連携の推進。
都道府県・指定都市保育組織の強化。保育組織間のネットワークづくり。

Ⅳ　子育て文化を育む

- 子育てへの関心を高める
- 子育て文化につながる活動を広げる

会報「ぜんほきょう」、ホームページ、全国保育研究大会などをとおした
子育てに関する啓発活動の実施。

Ⅴ　子育て・子育ちを支援する仕組みをつくる

- 社会連帯による子育て支援の仕組みづくりをすすめる

保育制度に関する提言および国等への働きかけ。
保育・子育て支援の今後の仕組みづくりに関する調査研究活動。